

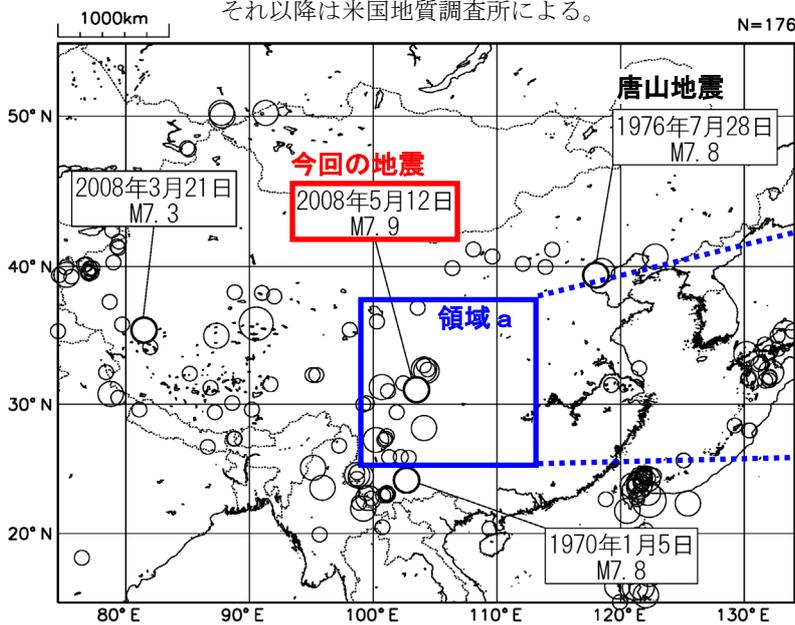
5月12日の中国四川省の地震について

2008年5月12日15時28分頃（日本時間）、中国の四川省でマグニチュード(M)7.9の地震が発生しました。この地震は地殻内で発生した地震で、発震機構（Global CMT 解）は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型です。この地震について、気象庁は同日15時55分に「遠地地震に関する情報」（日本への津波の影響なし、日本国内向け）を発表しました。

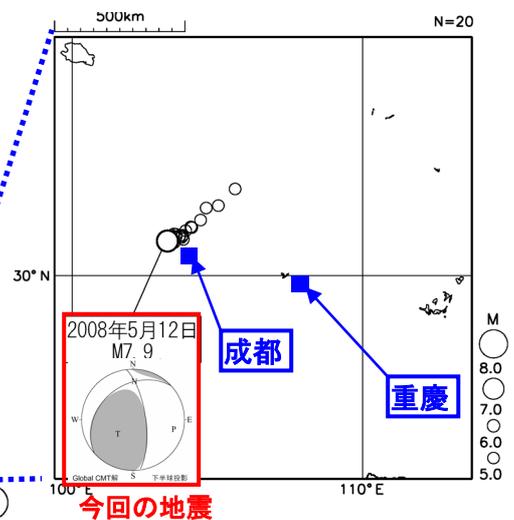
報道によると、この地震により中国で1万人に迫る死者が発生している模様です。

この付近は大きな被害を伴う地震が度々発生している場所です。1900年以降では、今回の地震の100kmほど北で1933年8月25日に発生したM7.5の地震により死者6,865人の被害が生じました。また、今回の地震の700kmほど南で1970年1月5日に発生したM7.8の地震により死者15,621人の被害が生じました（Mと被害は宇津の「世界の被害地震の表」による）。

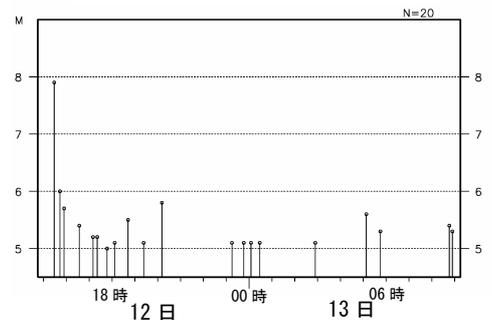
被害を伴った地震の震央分布図
(1970年1月以降、M \geq 6.0、深さ0~100km)
2003年7月までは宇津の「世界の被害地震の表」、
それ以降は米国地質調査所による。



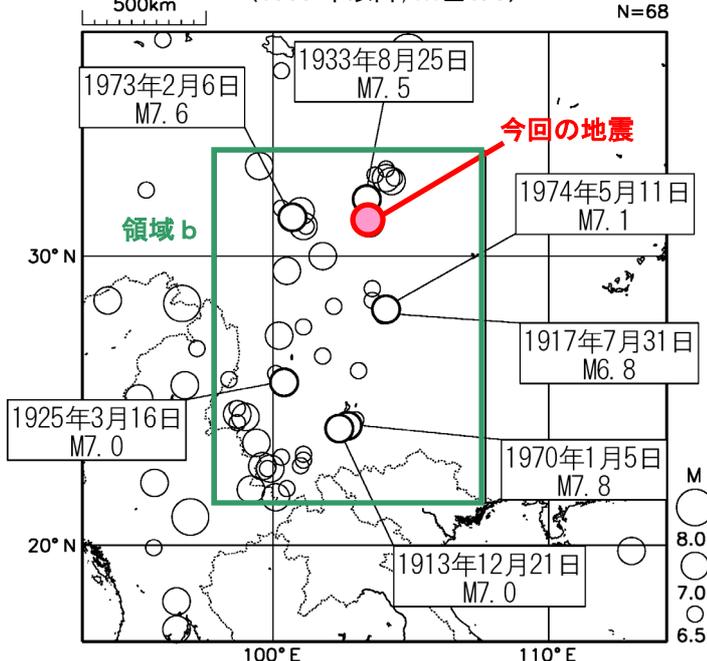
領域aの震央分布図
(5月12日15時~13日09時、M \geq 5.0)
震源データは米国地質調査所による
発震機構はGlobalCMT解



領域aの地震活動経過図



過去の被害地震の震央分布図（四川省周辺）
(1900年以降、M \geq 6.5)



領域bで発生した死者1,000人以上の地震

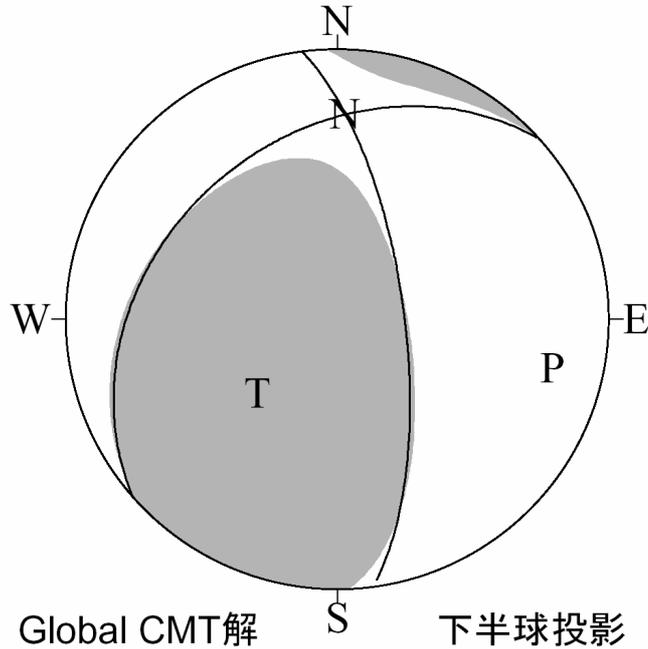
年月日	M	死者	負傷者
1913年12月21日	7.0	1,314	1,530
1917年7月31日	6.8	1,879	582
1925年3月16日	7.0	5,808	8,303
1933年8月25日	7.5	6,865	1,925
1970年1月5日	7.8	15,621	26,783
1973年2月6日	7.6	2,199	2,743
1974年5月11日	7.1	1,541	1,600

(宇津「世界の被害地震の表」による)

発震機構解 [CMT解]

2008/05/12 15:28

EASTERN SICHUAN, CHINA



Global CMT解 下半球投影 西北西—東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

Pは圧力軸、Tは張力軸の方向を示す。(下半球等積投影)

(Global CMTは、米国の研究機関により、世界各地に設置された広帯域地震計の記録から求められたCMT解である。)

発震機構解 [CMT解] について

地震波形には、地震時に働く力の特徴があらわれます。
また、地震時に働く力の向きは、断層の型により異なります。
CMT解は、これらの性質を用いて地震波形から断層面を推定するものです。

以下に、発震機構解と断層の型の対応関係の典型的な例を示します。

